2023年 12月期
第2四半期
決算補足説明資料

2023年7月27日

三菱鉛筆株式会社

2023年12月期 第2四半期連結決算 概略

uni MITSUBISHI PENCIL

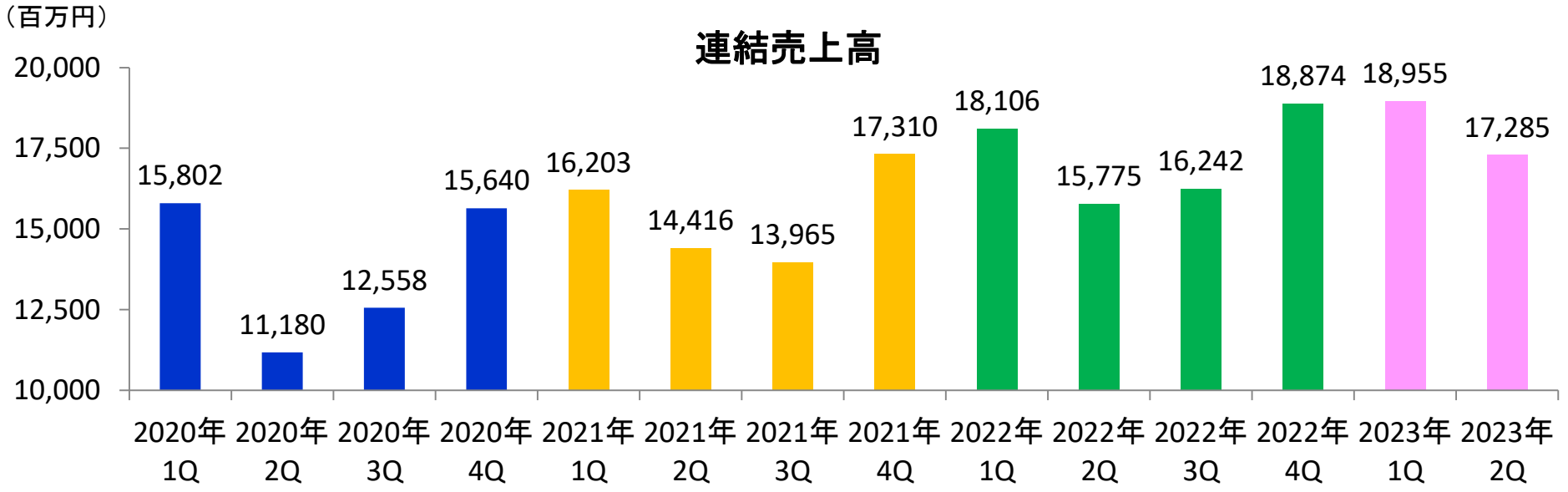
【連結】 単位：百万円	2023年 2Q	2022年 2Q	対2022年 増減額	対2022年 増減率（%）	2021年 2Q	2020年 2Q	2019年 2Q
売上高	36,240	33,881	2,358	(7.0%)	30,619	26,982	32,371
（USD平均レート）	¥135.99	¥123.17	¥12.82	-	¥107.76	¥108.41	¥110.13
売上総利益	18,206	16,535	1,671	(10.1%)	15,361	13,686	16,206
（売上総利益率）	50.2%	48.8%	-	-	50.2%	50.7%	50.1%
販管費	12,548	11,862	685	(5.8%)	11,240	11,127	11,567
営業利益	5,658	4,672	986	(21.1%)	4,121	2,559	4,639
経常利益	6,538	5,570	967	(17.4%)	4,691	2,761	4,795
当期純利益※	4,436	3,908	528	(13.5%)	3,234	1,743	3,244

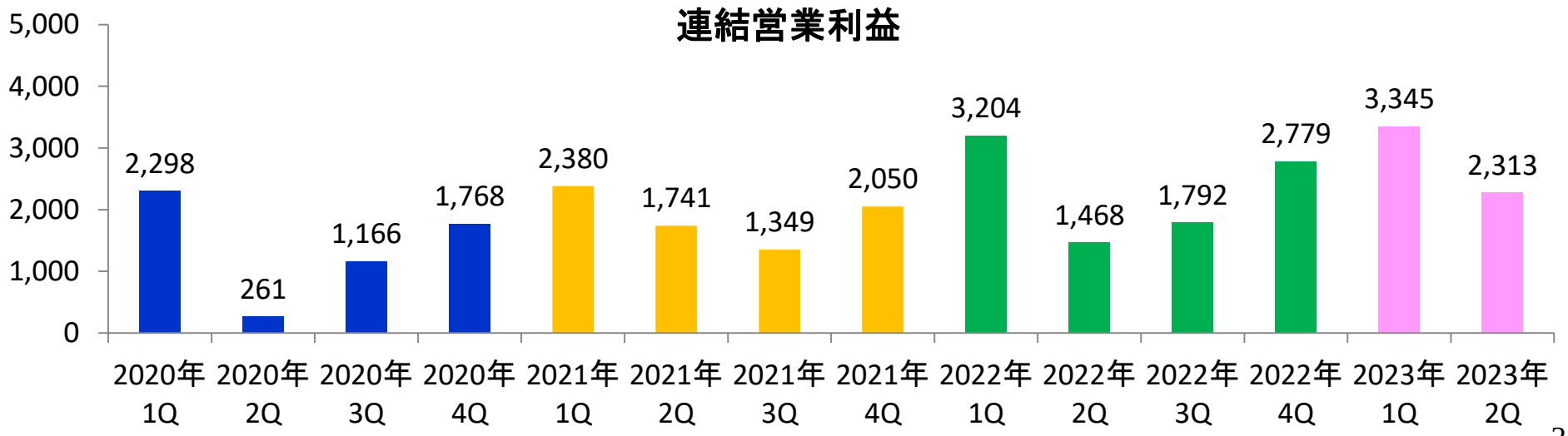
※親会社株主に帰属する当期純利益

- **売上高と売上総利益は過去最高を更新**
- **売上高は海外市場が順調に伸長、国内市場も回復が目立ち、前年同期比7．0%の増収**
- **営業利益は原材料費の高止まりのなか、販売差益の大幅な増加で総利益率が改善し21．1%の伸び**
- **経常利益も営業利益の増加により17．4%の伸び**

連結業績 四半期推移(売上高／営業利益)

uni MITSUBISHI PENCIL



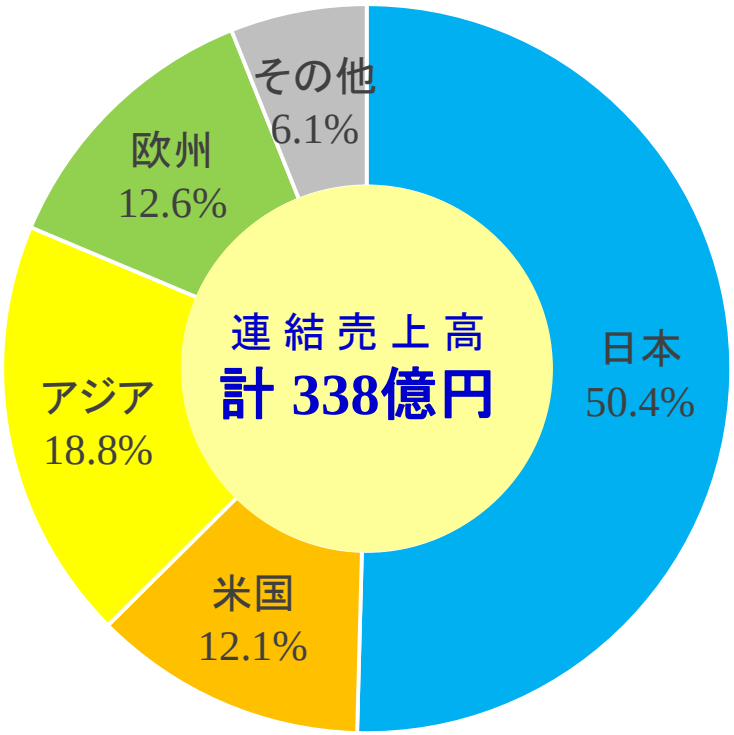


連結売上高　地域別構成比

MITSUBISHI PENCIL

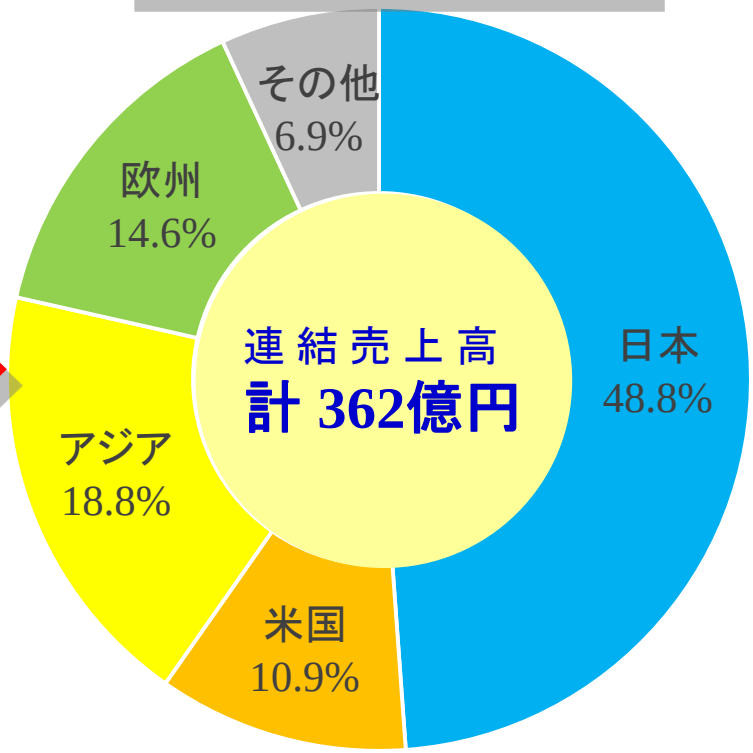
国内市場以上に、欧州を中心とした海外市場での売上高が大幅に増加

2022年 1-6月



国内：海外
50.4：49.6

2023年 1-6月

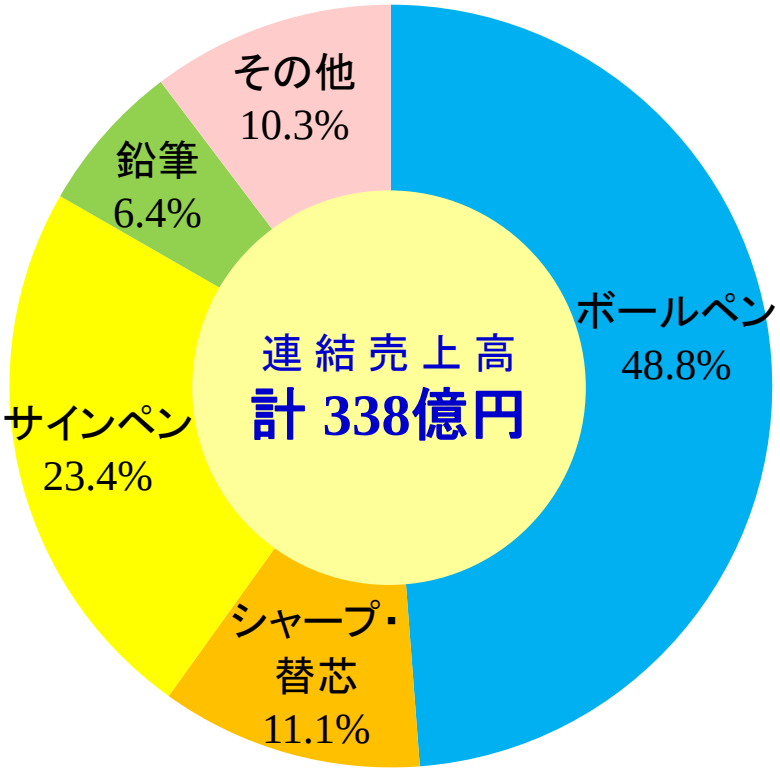


国内：海外
48.8：51.2

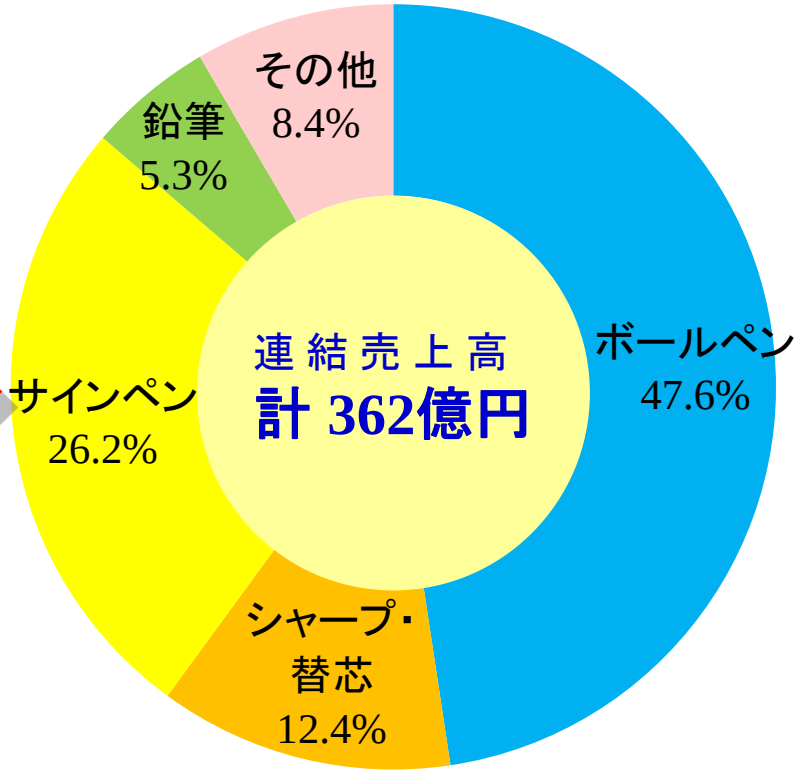
連結売上高　製品別構成比

国内ではシャープの新製品、海外ではサインペンによる市場開拓が売上高を牽引
それぞれの構成比が大きく伸びる

2022年 1-6月



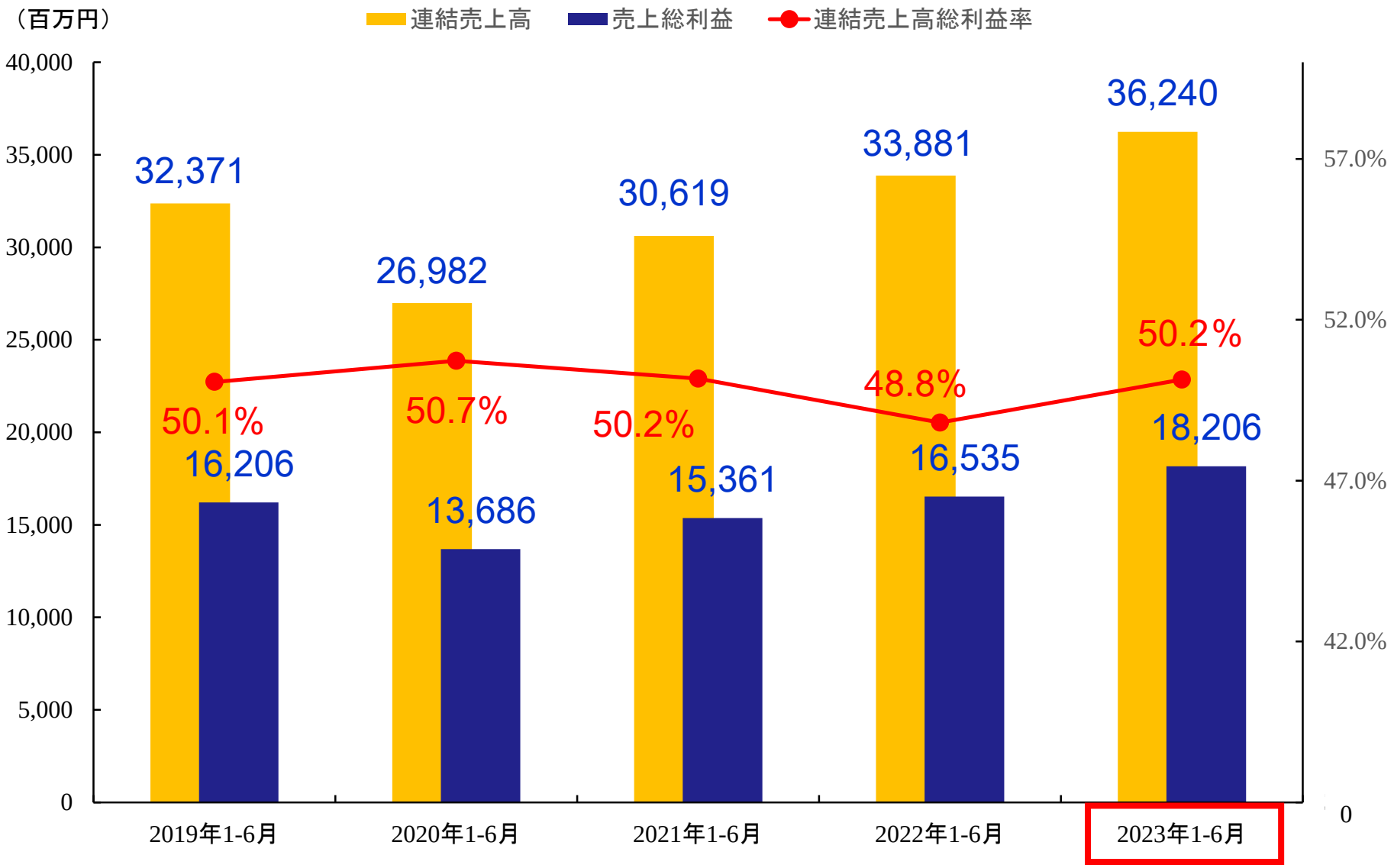
2023年 1-6月



連結売上高総利益率

MITSUBISHI PENCIL

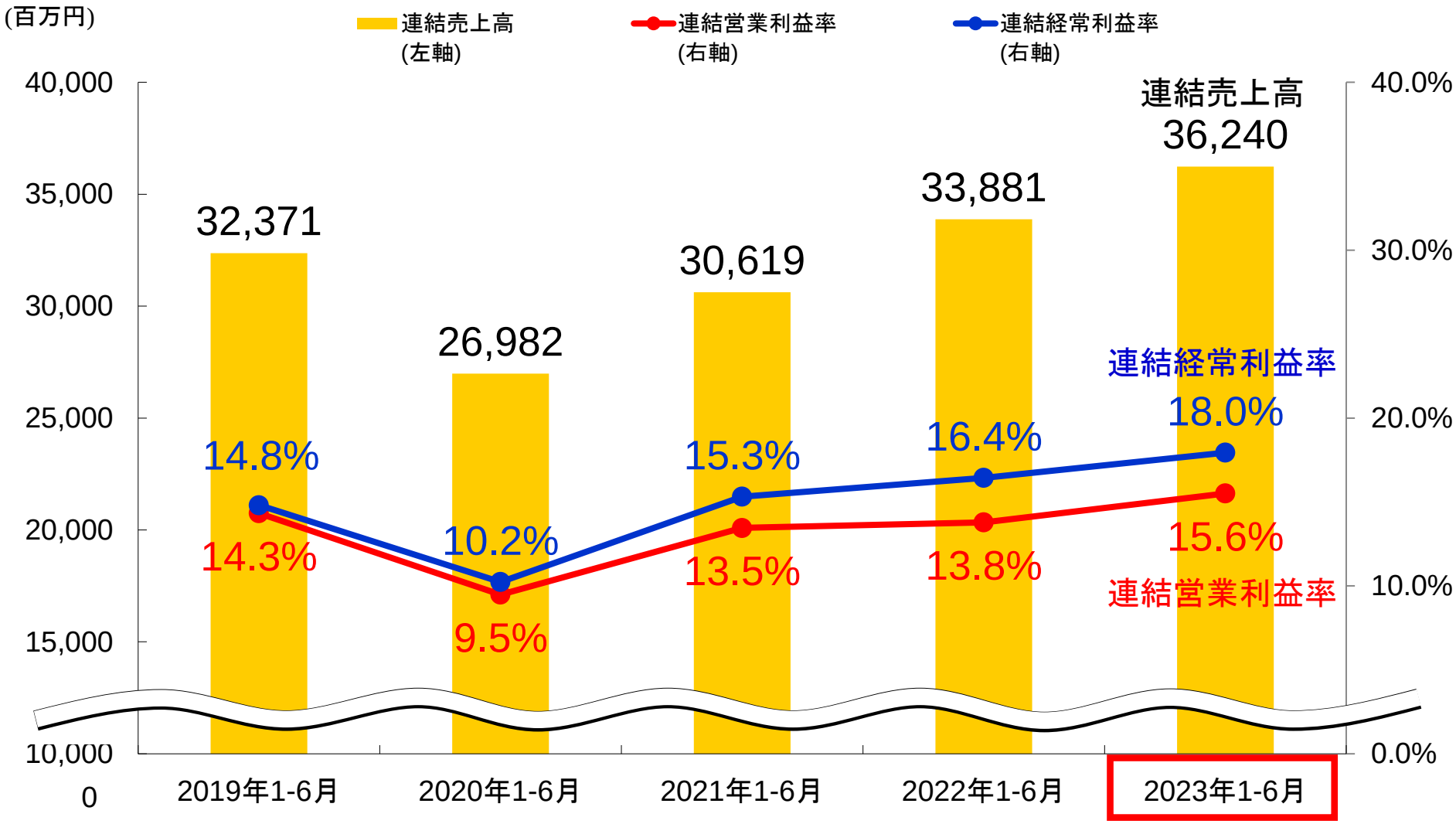
売上好調による販売差益の増加に伴い、総利益率が上昇



連結売上高 営業利益率・経常利益率

MITSUBISHI PENCIL

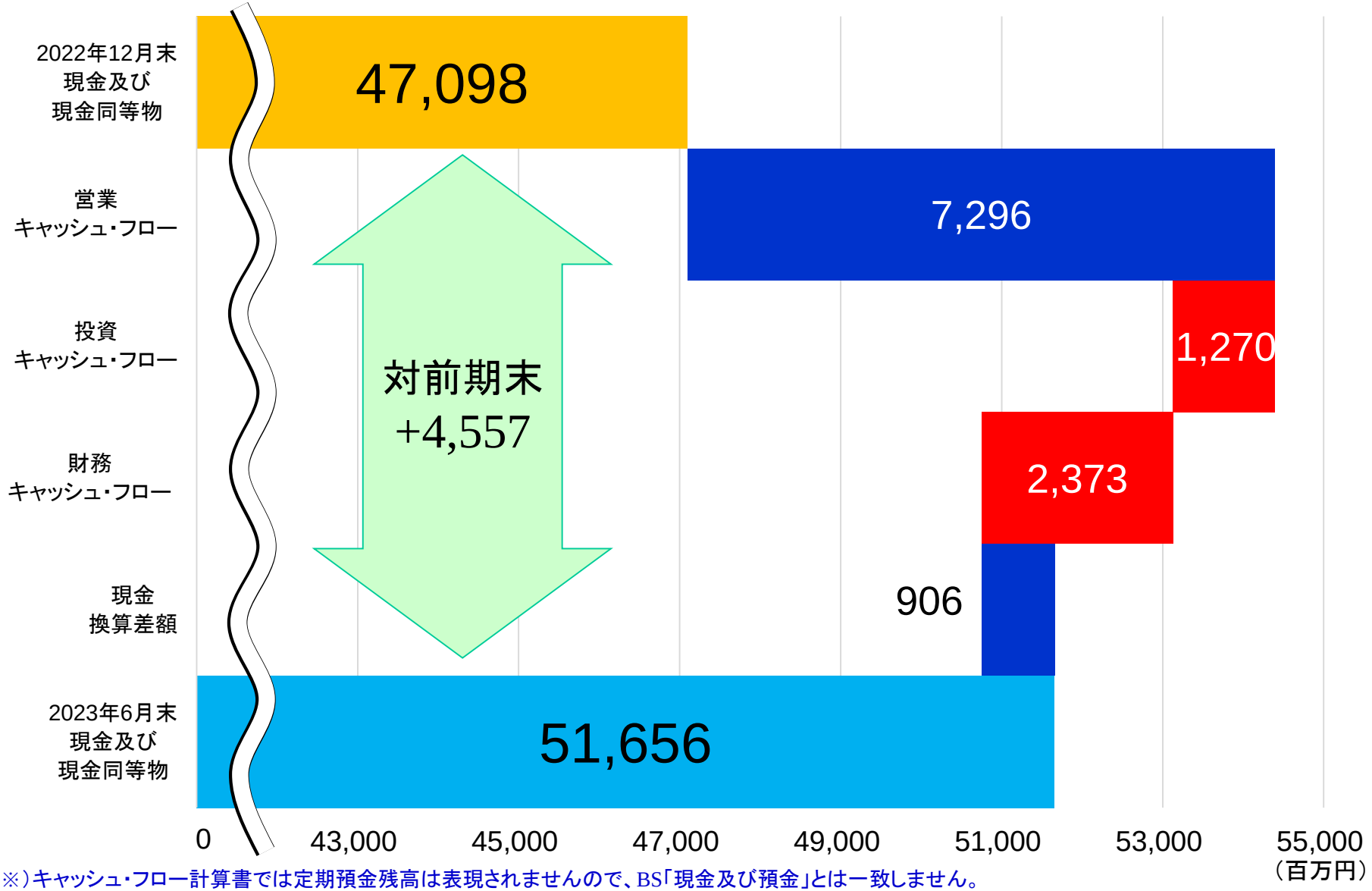
営業利益率・経常利益率ともに高い水準を維持



連結キャッシュ・フロー

MITSUBISHI PENCIL

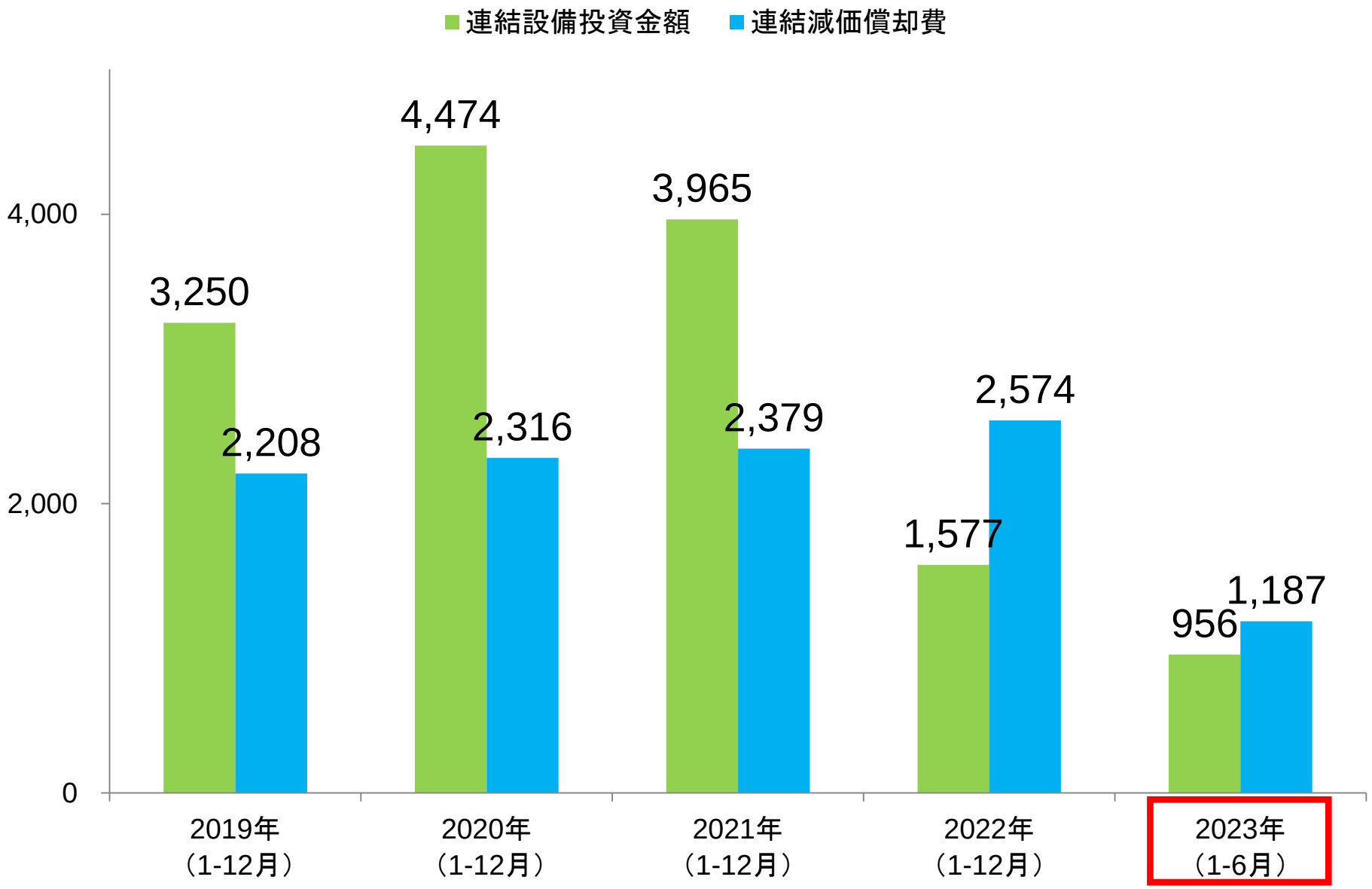
税前利益増加をはじめとした営業CFの伸びで財務基盤を強化



（※）キャッシュ・フロー計算書では定期預金残高は表現されませんので、BS「現金及び預金」とは一致しません。

設備投資 / 減価償却費

単位：百万円

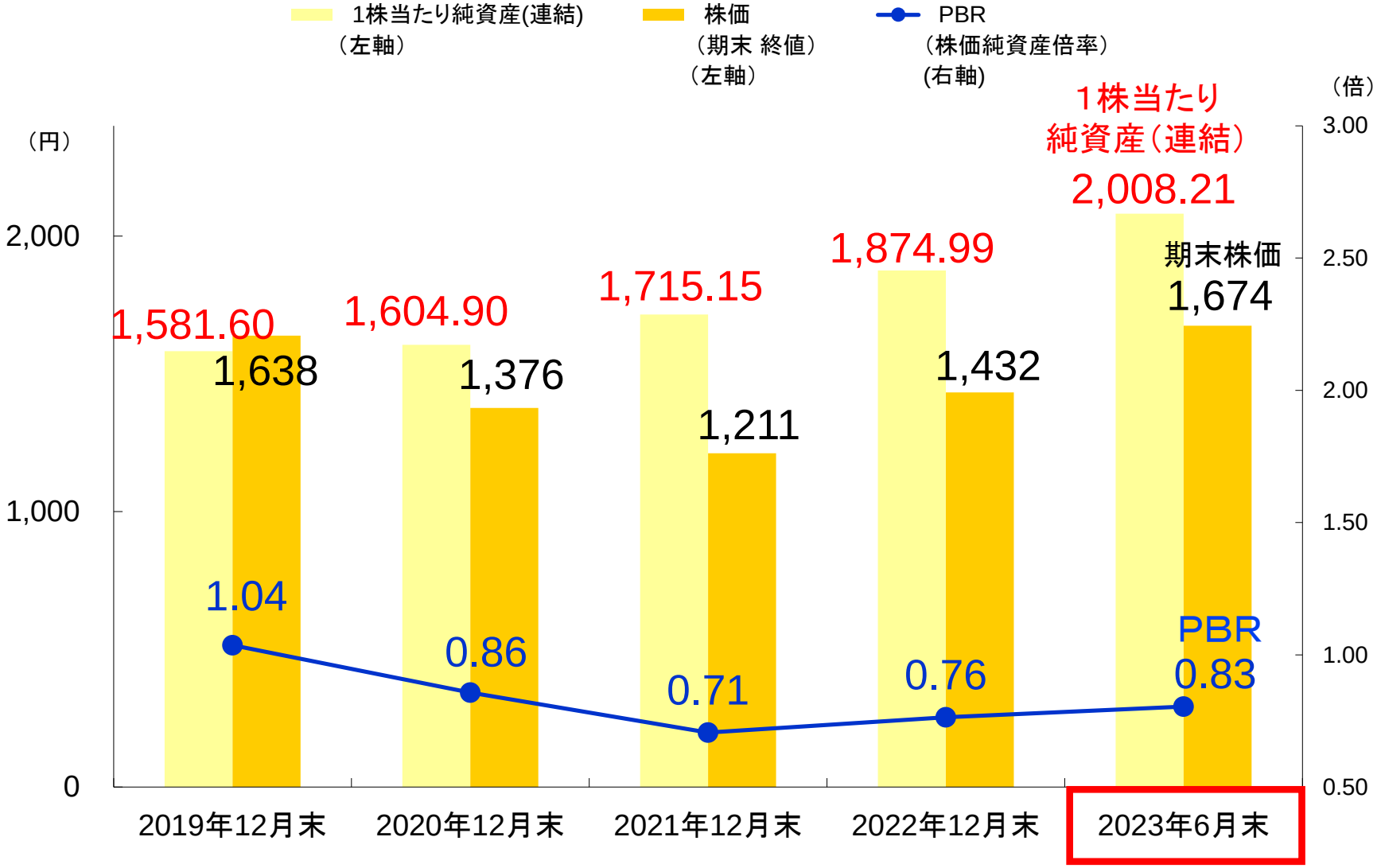


（※）減価償却費からのれん償却額を控除しています

1株当たり純資産 / 株価純資産倍率

MITSUBISHI PENCIL

自己株買いを実施。業績も順調に推移。今後も資本効率を高めていく。



※）PBR（株価純資産倍率）＝期末株価 ÷ 連結1株当たり純資産

業績予想に対する進捗

MITSUBISHI PENCIL

業績予想に対し、各利益が進捗率60%程度と好調に推移

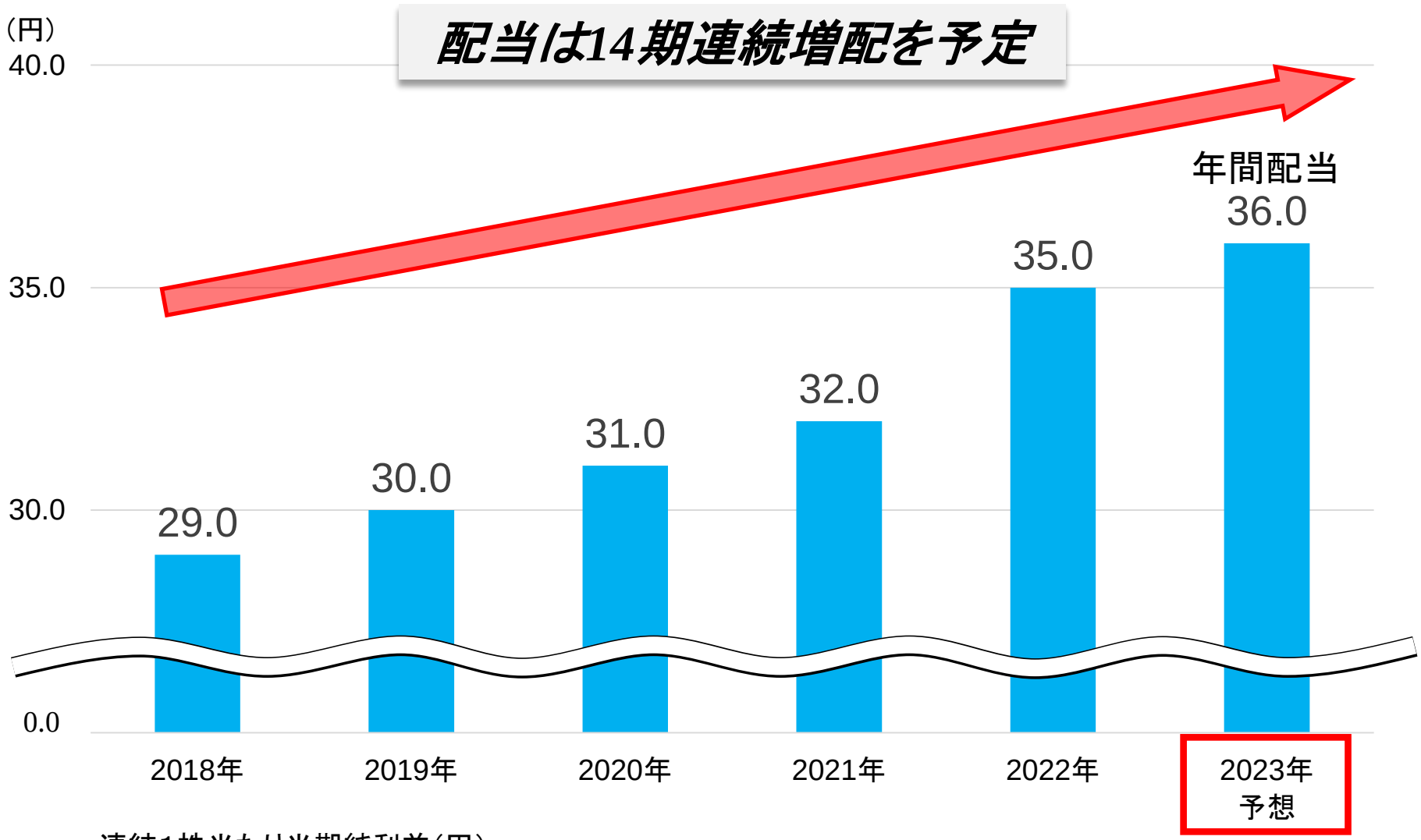
単位：百万円

【連結】	2023年 (年間)	業績予想 （年間）	対 業績予想 （年間） 進捗率（%）
売上高	36,240	70,500	51.4
営業利益	5,658	9,500	59.6
経常利益	6,538	10,400	62.9
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,436	7,100	62.5

2023年2月13日
公表

配当金・連結1株当たり当期純利益

MITSUBISHI PENCIL



連結1株当たり当期純利益（円）

100.31	77.84	67.57	100.96	125.73	130.45

違いが、美しい。

uni

MITSUBISHI PENCIL

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想となります。
従って、潜在的なリスクや不確実性が含まれており、実際の業績はさまざまな要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。